

(別添4)

審査情報提供事例に記載がある要望一覧

要望番号	成分名	要望効能・効果	要望用法・用量	提出者	会社名	要望の分類 未承認薬:A 適応外薬:B	WG	記載内容
II-64	カルバマゼピン	各種神経痛	経口・100mg～300mg/日。年齢、症状に応じて適宜減量する。	日本神経学会	ノバルティスファーマ株式会社	B	精神・神経WG	平成19年9月21日 (各種神経原性疼痛)
II-128	チオペンタールナトリウム	痙攣重積症	5～7mg/kgを20秒程度で静注し、脳波上“burst suppression”が得られるまで50mgずつボース投与を2～3分間隔で繰り返す。さらに3～5mg/kg/hrの持続静注を12～48時間継続する。	公益社団法人 日本麻酔科学会	田辺三菱製薬株式会社	B	精神・神経WG	平成23年9月26日 (けいれん重積発作)
II-161	バソプレシン	敗血症などによる急性低血圧やショック時の補助治療	点滴静注:生理食塩水、5%ブドウ糖などで溶解し、0.01～0.04 U/分で持続静注	小児救急医学会	第一三共株式会社	B	循環器WG(小児WG)	平成23年9月26日 (急性低血圧、ショック時の補助療法)
II-169	ハロペリドール	せん妄	ハロペリドールとして、通常成人1日0.75～2.25mgから始め、徐々に増量する。維持量として1日3～6mgを経口投与する。 ハロペリドールとして、通常成人1回5mg(1mL)を1日1～2回筋肉内または静脈内注射する。	日本精神神経学会	大日本住友製薬株式会社	B	精神・神経WG	平成23年9月26日 (器質的疾患に伴うせん妄)
II-260	リスペリドン	せん妄	通常、成人にはリスペリドンとして1回1mg1日2回より始め、徐々に増量する。維持量は通常1日2～6mgを原則として1日2回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。但し、1日量は12mgをこえないこと。	日本精神神経学会	ヤンセン ファーマ株式会社	B	精神・神経WG	平成23年9月26日 (器質的疾患に伴うせん妄)